

東京大学医学部附属病院で診療を受けられた患者さんへ
研究課題「電子カルテの自由記載を用いた情報抽出・分類機能の開発研究」
ご協力をお願い

【研究課題】

電子カルテの自由記載を用いた情報抽出機能の開発研究

研究倫理審査番号：2019276NI

承認日：2020年2月19日

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科 医療AI開発学講座

研究責任者 河添 悦昌 医療AI開発学講座 特任准教授

担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

【研究期間】

2020年2月19日～2025年3月31日

【対象となる方】

2010年1月1日から2017年12月31日までの間に当院を外来受診された方、または同期間に入院期間が重複する方。

【研究の目的】

この研究は、医師や看護師など医療従事者が記録した電子カルテの自由記載を用いて、フリーテキストとして記録された病名や症状、その有無などの情報を自動で抽出するコンピュータプログラムを開発することです。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている自由記載のデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があるため次のような処置を行います。

あなたのデータは、診察券番号を暗号化したうえで、解析する前にカルテ記録に含まれる氏名・住所・生年月日等の個人情報を可能な範囲で削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において研究責任者が、生体認証等で入室制限をされた個人情報管理区域で厳重に保管します。

この研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は下記の研究事務局まで2020年5月19日（承認日から3ヶ月）までにご連絡ください。利用を拒否された場合においても、当院における診療等で不利益を被ることは一切ありません。また、ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定できない形式とし学会等で発表されます。また、開発したコンピュータプログラムを動作させるうえで必要な情報を一般に公開します。このコンピュータプログラムで個人が特定されることはありません。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存され、その後は復元できない方法で破棄いたします。ご不明な点がありましたら研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、奨学寄付金から支出されています。本研究に携わる研究者はI&H株式会社（阪神調剤グループ）および株式会社EMシステムズより研究資金の提供を受けた寄付講座に所属しますが、東京大学医学部利益相反アドバイザー機関に報告し、利益相反マネジメントを適正に行っています。研究の実施や報告の際に、I&H株式会社（阪神調剤グループ）および株式会社EMシステムズに都合のよい成績となるよう意図的に導いたりすることはありません。尚、あなたへの謝金はありません。

2020年2月19日

【問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科 医療 AI 開発学講座 特任准教授 河添悦昌

住所：東京都文京区本郷 7-3-1

Eメールでのお問い合わせ：aih-office@m.u-tokyo.ac.jp